K19093 福本光重

彼らが生まれる時、ほとんどのアメリカ人は彼らの家族の名前と仲良くするために、ファーストネームとミドルネームを与えられます。（エドガー・アラン・ポーとルイザ・メイ・オルコットはアメリカ文学の例）ミドルネームは、一種の2番目の名前です。これらはしばしば祖父母または他の優しい親戚に敬意を表すために与えられ、必須というより装飾のためにあります。それは、私たちに最も重要なファーストネームとファミリーネームです。つまり、私たちが生活という業務を行うために使用する名前です。アメリカ人が初めて誰かに会うとき、私たちは通常自分の姓と名を使って自己紹介をします：「こんにちは、ロバート・スミスです。はじめまして」しかし、紹介が終わったら、すぐに次のようにお互いに言及し始めます。ファーストネームまたはその短縮形：「お願い、ロバートと呼んでください。」それはなぜですか。1つの理由は、アメリカ人は人のファーストネームを使用するほうが親しみやすく形式張らないであると感じているためです。もう一つの理由は、ファーストネームを使用すると、話し相手の間の社会的肩書に明確な違いがないということを暗示しています。それは、私たちがより平等に、お互いにより快適に感じるようにします。日本語とは異なり、通常、お互いに肩書を与えることはありません。（ただし、正式な状況では、もちろん、例えば大学の先生をジョーンズ教授、かかりつけ医のことをウィルソン先生と呼びます。）初めて日本に来た時、ファミリーネームにつける肩書があるのに驚きました。私の日本語教師は森先生でした。お隣さんは田中さんでした。20代の上司は、寺田部長でした。バスケットボールサークルの友達は、先輩と呼ばれ、名前がつけられていないことに気づきました。考えたら、誰の名前も知らない！

なぜこのような肩書が日本でそれほど重要なのかは、正確にはわからないが、それは社会における、立場を知ることについて長年の関係と考えがあると思います。アメリカでは、同じ伝統はありません。民主主義と個人主義に関する私たちの考えは、年齢、地位、階級に関係なく、平等に扱われることを好むことを意味します。これは、私たちがファーストネームベースであることを好む理由でもあります。